

海外安全対策情報

【2022年10月～12月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様
が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについ
て、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好と言われていますが、あらゆる犯罪が日常的に発生して
おり、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。

当地での犯罪の態様としては、殺人等の凶悪事件や窃盗事件をはじめ、痴漢や盗撮
等の性犯罪や違法薬物犯罪のほか、特に詐欺被害が多発しており、微信や支付宝等の
電子決済機能を悪用した電信詐欺が後を絶たない状況にあります。

また、当地では飲酒運転に対する取締りが強化されており、自分が飲酒後運転しな
いことはもちろん、飲酒者が運転する車両にも同乗してはいけませんし、飲酒者に自
己所有の車両を運転させないように気をつけなければなりません。さらに、売春など
の性的サービスも禁止されており、買春側も取締りの対象になります。

2. 防犯対策

当地では、過去に邦人がスリや置き引き等の盗難被害に遭う事案や、夜間盛り場な
どでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。よって、次のような点に留意し
ながら、犯罪に巻き込まれることのないように注意してください。

- (1) 外出時は周囲をよく観察し、異変を察知した場合はすぐにその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に華美な服装や目立つ行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や、夜間暗くて人通りの少ない場所の通行をなるべく避ける。
- (4) 子供を一人で外出させない、外出時に子供から目を離さない。
- (5) 見知らぬ相手からの勧誘、要求には安易に応じない。
- (6) 違法薬物の受取や使用は、どんな理由があっても絶対にしない。
- (7) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理に細心の注意を払う。

3. 事件・事故報道

(1) 銀行強盗犯人を射殺（泰安市）

泰安市公安局泰山分局の発表によれば、11月15日正午頃、泰山区所在の銀行で凶
器を持った人物が強盗に入り、人質を取って一緒に死ぬと叫んだ。警察は何度も警告
を発した後の13時12分、法に従って犯人を射殺し、人質を救助した。

ネット記事によれば、警察は犯人が男で銃を持っていたと話しており、爆発物を持
っていたとの情報もあった。また、犯人はコロナ禍で仕事を失い、住宅ローンの返済
に追われ、借金をしながら何度も事業に失敗しており、最終的には287万円の負債を
抱えて途方に暮れ、犯行に及んだとの話もある。

海外安全対策情報

(2) 国内輸送を装った石炭密輸事件（青島市）

青島海警局は近日、大規模な石炭密輸事件を摘発し、被疑者 13 人を逮捕、母船 1 隻、キャッシュカード 20 枚、携帯電話 40 台を押収した。これまでに密輸した石炭は 11,000 トン（1,300 万元相当）に及び、国内輸送を装って海外から石炭を密輸した事件としては青島市初となる。同局は本年 5 月、管轄海域で石炭密輸船 1 隻を拿捕した際、この船が税関や出入境の検査を経ずに不完全な航路と偽造の威海石島を出発地とする貨物手続きで石炭を密輸していたことを発見した。その後、4 か月余りの捜査を経て犯罪グループの海外責任者や国内の指示役、石炭の荷受人等を解明していき、日照市や江蘇省で 2 人の主犯格と 1 人のブローカーを逮捕した。

(3) 予備電線の連続窃盗事件（青島市）

城陽公安分局夏庄派出所は 11 月 15 日、小区の配電室から予備電線を盗んだとして、電気水道配線修理業の男を検挙した。同派出所は 10 月 31 日、某小区の物業会社から配電室の電線が盗まれたとの通報を受けたが、監視カメラに不審者は映っておらず、配電室のドア鍵も壊されていないばかりか、切断されて盗まれた電線は全て予備で、使用中の電線には問題がなかったことなどから、プロの犯行とみて捜査を進めていた。検挙当日、警察は再度物業会社から犯人を発見したとの通報を受けて臨場したところ、犯人は同小区の配線修理を担当していた者であり、配電室の合い鍵を所持していた。犯人によれば、本年 9 月に修理を依頼された際に、多数の予備電線があることを発見して犯行を思いつき、以降 20 数回犯行に及び、毎回 100～200 円で転売していたという。

(4) コンクリート窃盗及び転売事件（青島市）

胶州市公安局は近日、コンクリート輸送に従事する運転手がコンクリートを転売しているようだとの通報を受け捜査したところ、男 2 人が、故意に輸送先へ引き渡すコンクリートの量を減らし、残りを盗んで 150 元/m³で転売しているのを突き止め検挙した。匡容疑者は本年 1 月から 29 回、万容疑者は 3 月から 13 回犯行に及び、それぞれ 59,312 元分（利益 23,160 元）と 15,899.3 元分（利益 6,850 元）のコンクリートを盗んでいた。現在両名とも刑事拘留を受けている。また、2 人の携帯電話には、多くのコンクリート売買に関するグループチャット履歴が残っていたという。

“コンクリート交流グループ”は非常に活気があり、「余ったコンクリートを買います。」や「余りを売ります。」等の情報が飛び交っているところ、実際は玉石混交である。警察の説明によれば、コンクリートの窃盗転売は度々発生し、盗品と知りながら購入する業者もおり、今では一種の違法産業グループを形成している。さらに、窃盗被害ばかりか期日通りに工事を完成できないという損失もあり、これら犯罪を厳格に取り締まる必要がある。

(5) ガードレール窃盗事件（済南市）

済南交通警察支隊市中大隊は近日、パトロール中に多数の場所でガードレールがなくなっているのを発見し、盗んだ犯人とそれを購入した廃品回収業者を検挙した。盗まれたガードレールは合計 50 セット、被害額 6 万余元で、長さは約 160 メートルにも及ぶ。警察によれば、被害場所にはいずれも防犯カメラが無かったことから付近の住民に聞き込みを行い、周辺の防犯カメラ映像により犯行時間や犯人の逃走方向を特定。さらにガードレールの長さは 1 つ 3 メートルに及び、重くて持ち運びに不便であることから隠匿場所は遠くないと考え、周辺を捜査して廃品回収拠点を発見したと

海外安全対策情報

いう。警察は、同廃品回収拠点の敷地からガードレールを発見し、同経営者とともに窃盗犯人の検挙に至った。

(6) 連続車上狙い事件（青島市）

青島市公安局市北分局は10月15日、無施錠の車両を狙って盗みを繰り返し、11日から13日の3日間で4件の犯行を行い、2万元相当の物や現金を盗んだ王氏（57歳男、元受刑者、無職）を逮捕した。王氏の供述によれば、本年7月に省外から青島に戻り、仕事も収入もなく生活に苦しんでいたところ、小区周辺に停まっている車両の窓が開いていたり鍵が掛かっていないことに気付き、車上狙いを思いついたという。警察は、捜査の過程で犯人が現場近くに居住し、犯行時に“黒色フェルト帽”を着用していることを発見したことから、頭部の負傷によりいつも帽子を被っている王氏に容疑をかけた。王氏は当初、耳や目が悪く記憶喪失などと犯行を否認していたが、6時間に及ぶ取調べにより全てを供述するに至った。

(7) マンション地下駐車場で車上ねらい（青島市）

青島市公安局市北分局湖島派出所は8月3日午後、金華路の某小区マンション地下駐車場において、駐車車両のグローブボックスから現金52,300円を盗んだとして同じ小区に住む無職の郭某（37歳男）を検挙した。警察は、7月27日に届出を受け、同小区警備員が不審者の出入りは無かったと供述したことから内部犯とみて捜査を開始した。そして、戸別訪問時に異常な挙動があり、防犯カメラ画像の犯人と酷似した郭某を派出所に連行して取調べたところ、郭某はすぐに犯行を認めたという。郭某は、北京から2018年に青島へ戻ったが、定職がなく会社経営も上手くいかず、ストレス解消のためジョギングをしていたところ、右後部座席の窓が開いており、グローブボックスから現金がはみ出していた車を発見し、犯行に及んだ旨を供述し、現在強制措置が執られている。

(8) 某企業社員が社長室に侵入し金貨を窃盗（青島市）

城陽公安分局流亭派出所は11月5日、管内企業の社長室から金貨が盗まれたとの通報を受けて捜査し、同社社員の王某（37歳男）を検挙した。王某の供述によれば、11月2日午後、トイレに行く際に鍵を拾い、社長室の鍵だとわかったので一瞬返すかどうか迷ったが、社長室にこっそり侵入してしまった。引き出しの中に金貨が満載の箱があるのを発見したことから、社長にバレないように金貨を少量ポケットに入れて箱を元通りに直し、その日は理由をつけて早退したという。その後、王某は95グラムの金貨を売り払い、3万円を得ていたが使用する前に捕まってしまう、警察の家宅捜索時には部屋から大量の現金が発見された。（11月15日付「半島都市報」）

(9) 電動自転車の連続窃盗事件（青島市）

李滄公安分局浮山路派出所は近日、11月14日から3日間で電動自転車6台を盗んでいた梁某（42歳男）を検挙し、その場で電動自転車2台を押収した。警察は、14日に電動自転車が盗まれたとの通報を受け、監視カメラ映像等から被害品を購入した車修理業者を発見、購入時の身分証明書から梁某の犯行であることが明らかになった。梁某は、19歳の時に侵入窃盗犯として服役、これまで前科6犯であり、11月2日出所したばかりであった。今回の車両被害額は1万元以上に上るが、梁某が手にした現金は1,000円にも満たなかったという。

海外安全対策情報

(10) 国内初の募金仲介詐欺事件（菏泽市）

水滴筹（難病募金運営会社）は9月、山東省警察と協力し、寄付金を騙し取っていた菏泽市の某医療機関の詐欺事件を解決した。菏泽市公安局によれば、同医療機関は、ネット上で“無料の火傷治療”を宣伝して患者を集め、患者の個人情報を利用して無断で水滴筹等のサイトに申請し、寄付金を騙し取っていた。この医療機関による同様の被害は、水滴筹のほか轻松筹や中華少年兒童慈善基金等の募金運営会社にも及んでおり、患者は計17人、合わせて300万元余りになる。警察は、これまでに被疑者17人を逮捕し、うち7人に刑事強制措置が執られており、北京水滴互保科技有限公司の民政部への報告によれば、当該犯罪類型は国内初であるという。

4. 治安対策等報道

(1) 山東省政法機関による過去10年の取り組み（山東省）

山東省政法委の孫成良副書記は10月10日、省委宣伝部の“山東この10年”発表において、省政法機関の治安に対する貢献を説明し、法に基づき取り戻した経済損失が864億元に上り、2021年民間企業1万社による商環境評価において、司法指標部門で全国一位であったことを紹介した。

山東省では、この10年で刑事事件は34.3%、治安事件は67.2%減少しており、平和中国の建設に関して全国トップクラスの評価を得ている。暴力団取締り満足度、高齢者に対する詐欺事件解決で全国上位を占め、電信詐欺の1万人当たり発生数は全国最低を保持しており、“団らん”行動においては446人の誘拐された児童を取り戻した。さらに、司法行政部門は紛争解決のための専門行動を展開し、人民調停組織は10年間で紛争110万件を予防、380万件を処理したという。現在、調停委員会は全省に6.6万か所あり、26.2万人の調停員のうち8万人が専業である。

(2) 済南市自動車軽微道路交通事故快速処理実施弁法の施行（済南市）

済南市公安局は11月9日、15日に改正施行となる軽微事故即時処理法を発表した。近年、経済発展に従って自動車は益々増加し、10月の統計では全市で367.1万台、交通事故のうち57%が軽微事故である。警察は、市内の保険会社30社と提携して交通事故ネット処理システム（交管12123）を作成し、ネット上で情報共有しており、現在は交通事故を保険アプリだけで保険金支払い、損害額の確定、直接賠償、交管12123上での認定等が可能となっている。（改正は以下のとおり）

○ 事故後の流れ

当事者は、警察に通報せず写真撮影して現場を離れ、保険会社に連絡するか、“交管12123”アプリの指示に従って処理する。

○ 車両損害額の限度拡大

自走可能な車両は全て適用（以前は車両1台5,000元以内の制限）

○ 適用区域の拡大

済南绕城高速道路以内の道路（以前は鳳凰路以西等の制限）

○ 適用時間の拡大

7:00~21:00（以前は7:00~20:00）

(3) 青島市公安局市南分局の成果（青島市）

青島市公安局市南分局は2022年、電信ネット詐欺の取締りに力を入れており、被

海外安全対策情報

疑者 60 人を逮捕、16.8 万通の警戒情報を発信したことで、同事件の発生件数は前年同期比 3%減少している。また、市南区の特色ある平和モデルを追及し、“平安市南”の標語をさらに推進することで、累計 100 日間刑事 110 番ゼロを達成しており、安定した治安を維持している。

(4) 青島市公安局の成果（青島市）

青島市における刑事事件数は前年同期比 15.3%減少し、検挙率は 3.6%上昇、殺人事件は 100%解決している。また、電信ネット詐欺については、立件数は 26.1%減少、損失は 19.8%減少しており、426 万人の被害を予防して、9.2 億元の犯罪関連資産を凍結した。高齢者を狙った詐欺については、6.2 億元の被害金を還付している。交通関連では、危険箇所 2.7 万か所を整備し、交通事故件数と死亡者数ともに減少している。110 番通報 312 万件を処理し、累計出動回数は 240 万回、38 万人の市民を助けた。